

〈作品タイトル〉

# KEEP ANJOYING! ~三河安城に新たな個性を~

〈提案の趣旨〉

## 背景とコンセプト

2040 年に向け、区画整理による人口の増加・大型商業施設の開業・シーホース三河のアリーナ建設等、人を呼び寄せるポテンシャルが見込まれる三河安城。20年後、シーホース三河のスポンサー企業や地元協賛企業と連携し、三河安城に来なければ体験できない楽しみを提供し続ける、ANJOYING (安城×enjoy) な空間を目指す。アリーナ動線で築き上げた、行政×企業×地域住民による ANJOYING の仕組みやノウハウをマチナカ協創地区等の周辺エリアに波及させ、さらには三河安城が他の市町村がまちの将来像を検討するうえでのモデル都市となることを目指す。

## 各エリアの整備方針と実現化方策

### Cross Area

バスケットの試合を見に行く人、乗り換えの人、出張の人、芝生でくつろぐ人。様々な人が自然・水・スポーツと出会う。企業×スポーツ、地域×スポーツなど様々な主体がエリアをつくる。それぞれの活動の Cross (交流)、をテーマにしたエリア。

### Movement Area

アリーナまでの道を広場に。移動を滞りに。過ごし方は人によって異なるため、一人一人が過ごし方を選び、主体的に場を使うことができる。Movement (躍動) した人々が、気づけばアリーナについている、をテーマにしたエリア。

## KEEP ANJOYING ー持続可能な実現イメージー

上記のエリア整備を実現するための事業スキームとして、大きく3つのフェーズで進める。フェーズ1では機運の醸成として、まちの将来像を共有する。フェーズ2ではANJOYING版ふるさと納税を制度として運用。企業と連携することで、行政の負担を減らしながら整備を進める。フェーズ3では行政×地域×企業がそれぞれの立場で主体的にエリアに携わることで、ハード・ソフトの整備を持続 (KEEP) し、三河安城以外にも広がる事業を展開していく。

